

実務経歴書

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、 <b>二級木造</b> 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
氏名 <b>建築 士郎</b>			
長崎県指定登録機関 一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様			
勤務先等			
勤務先（部課名まで）		所在地（番地まで）	
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部〇〇課		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	
		年月～年月	年月数
		H23年4月～R4年3月	11年0月
在職期間		地位職名	建築実務の内容（建築士法施行規則第10条）
年月～年月	年月数		
R2年4月～R4年3月	2年0月	主任	建築士事務所の業務として行う建築物に関する調査又は評価に関する実務
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計
			2年 0月
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	定期報告調査（〇〇レジデンス、他〇件）	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地（〇〇レジデンスの所在地）	
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）		
〇〇レジデンス（共同住宅、鉄筋コンクリート造 8階建て、延べ面積 3,000㎡）における定期報告調査業務において、敷地地盤、建物外及び内部、屋上屋根、避難施設等の調査補助を担当した。（他〇件）			建築実務経験期間 年月～年月 年月数 R2年4月～R3年3月 1年0月
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	耐震診断及び構造計算書のチェック（〇〇ビル、他〇件）	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地（〇〇ビルの所在地）	
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）		
〇〇ビル（築 40年の鉄筋コンクリート造 4階建て、延べ面積 1,500㎡）における建築物の耐震診断に関する業務において、耐震診断及び構造計算のチェックの補助を担当した。（他〇件）			建築実務経験期間 年月～年月 年月数 R3年4月～R4年3月 1年0月
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）		
			年月～年月 年月数 年月～年月 年月
※経由庁（機関）記載欄			※登録機関記載欄

